

# 三 七ツ島のウミネコ



ウミネコとそのヒナ

「輪島市の北、およそ20キロにある7つの無人島。そこはウミネコなど海鳥の楽園です。その数は、数万羽。島全体が国設鳥獣保護区に指定され、全国でも数少ない、海鳥たちの集団繁殖地になっています。」

## かいせつ

輪島市の北約20kmに位置する7つの無人島の一群を七ツ島と呼びます。島の周囲は、日本海の荒波による激しい侵食で断崖を成しています。地上からの捕食者が近付けない安全な場所である七ツ島は、ウミネコやオオミズナギドリ、カムムリウミスズメなど海鳥の楽園です。島全体が国設鳥獣保護区に指定され全国でも数少ない、海鳥たちの集団繁殖地になっています。ウミネコは、尾の黒帯と「ミャーオ、ミャーオ」という猫に似た声の特徴で、漁港周辺や海岸線で最も普通に見られるカモメ科の鳥です。七ツ島では、大島や御厨島等の草つきの岩場で1万羽以上のウミネコが集団で繁殖し、毎年春から夏にかけて、ウミネコたちの賑やかな声が響き渡ります。

